

# こんなことはありますか？

## ネットいじめ

学校でのいじめが…

- LINEやSNSなど、インターネットは世界中につながっています。会話やスタンプの受け止め方の違いからトラブルになったり、自分や友だちの個人情報をネット上に公開することで、思わぬ結果を招くこともあります。何気ない投稿がさらに相手を傷つけ、より広範囲に拡散させることにもなります。また、一度アップロードしたものは完全に削除することは不可能です。
- 言葉による直接のコミュニケーションを積み重ねることで信頼関係を築くことの大切さを、普段から子どもに伝えていきましょう。
- 普段から動画を安易にアップロードさせないように子どもと約束しておきましょう。
- 子どもの不適切な画像や動画をアップロードされた場合は、まず第三者(学校や警察など)に相談しましょう。

本人の知らないところで…

- 相手の表情が見えないネット上では、書き込みを繰り返していくたびに、感覚が麻痺し、人を傷つける過激な言葉も簡単に用いるようになってしまいます。また、勝手に自分や友達の写真などを投稿してしまい、ネットで拡散される事例もたくさんあります。
- 子どもが相談しやすい環境を作り、兆候を早めに察知できるように注意を払いましょう。
- メールの内容については、保護者同士でも頻りに情報交換を行うように心がけましょう。



## ネットトラブル

冗談のつもりが…

- インターネット上に一度アップロードした画像は、コピーが繰り返されて拡散し、完全に消すことは難しくなり、その画像に一生悩まされる可能性があります。また、知らない人に自分の活動場所や内容を教えることにもなります。特にスマートフォンでは、簡単な操作で投稿できるため、気を付ける必要があります。
- 他者(個人や企業、店)への実被害につながり、子どもの人生に悪影響を及ぼすことがあるため、不用意な画像のアップロードはさせないようにしましょう。

ただのプレゼント応募のつもりが…

- プレゼントに関するサイトやゲームの登録などにすぐアクセスするのは危険です。入力した個人情報が悪用される危険性があります。

- 個人情報伝える場合には、
- 会員登録などの個人情報の入力、保護者が一緒にしましょう。
- 家族や友だちの個人情報を、本人の許可なく他人に伝えさせないようにしましょう。



## ネット依存ほか

延々とネットがやめられない…



- 日常生活に目標がなく「アクセスしなければ時間を余す」「オンラインゲームをしないとメンバーから脱落してしまう」などの不安を感じて、延々とネットをやってしまい、昼夜逆転の生活になるなど、日常生活に支障をきたすことがあります。
- 共通の話題を持ち、保護者から積極的に子どもに声をかけ、コミュニケーションを取りましょう。
- 子どもと一緒に学習や読書の時間を設定し、生活環境を整えるように勧めましょう。

誰かとつながっていないと不安に…

- 生活の時間を削ってSNSにのめり込む状態が続くことで、心や体の健康に深刻な影響が出てきます。また、相手の顔が見えない会話や情報によって、相手を信じられなくなったり、相手に振り回されたりして不安が募り、日常生活にも支障をきたす可能性もあります。
- 言葉による直接のコミュニケーションを積み重ねることで信頼関係を築くことの大切さを、普段から子どもに伝えていきましょう。
- 保護者同士でも連絡を取り合い、子どもの使用状況を把握しましょう。

素敵な出会いのように思っても…

- インターネットでは、名前や性別などを偽り、架空の人物になりすましている人も多くいます。そのような人の中には、相手を言葉巧みに信用させ、個人情報を聞き出したり、直接会うように要求してきたりすることがあります。
- 日常の子どもの様子を見守り、気になったときは声をかけましょう。
- 子どもがネット犯罪に巻き込まれている可能性がある時は、保護者だけで抱え込まず、第三者(学校や警察など)に相談しましょう。

ストップ  
STOP!

出会い系サイト ~3つの約束で未然に防ぐ~

(警察庁)

① インターネットに出会いを求める書き込みをしない!

② インターネット上で知り合った相手とは直接会わない!

③ インターネットに個人情報・写真の掲載はしない!

